

校長室だより

7月号 平成28年7月22日発行
校長 菅野武彦

「人間賛歌が響き渡る学校づくり」を目指して

【今年度のキーワード】

「建設的な和～みんなの向陽中学校～」

◇ 『人間賛歌が響き渡る向陽中学校』を創ります =その3=

〈第1学期は“明るい向陽を創ろう！”を掲げて…〉～「声を出すこと」がポイント～

私はもともと引っ込み思案で根暗な性格でした。なので、陽気で明るい人っていいなと、よくあこがれを抱いたものです。しかし、そう思っても明るく振る舞うこともできず、「しょうがない」状態でした。きっかけは中学校の担任の先生の一言。野球大好き少年だった私は、野球部の練習となると人が変わったように大声を張り上げていたようです。ある日、その様子を見ていた担任の先生から、「お前、野球となると明るく元気がいいな。普段もそうしたらどうだ！」と言われたのです。私は「野球は元気に声を出してやらないとつまらない！」と思っていたので、当たり前のようにやっていた。でも、先生の一言で私の視界が開けました。

私は向陽中学校が明るい学校であってほしいと強く願っています。“学校の明るさは生徒の明るさ”です。向陽中で学ぶ生徒が明るく元気であってほしいと願うのは私のみならず、多くの大人が願うところだと思います。ましてや生徒だって。何よりスタートが肝心。第1学期こそが“明るい向陽”をつくる学期です。日常的に生徒の明るい雰囲気を感じられる、“運動会”で生徒の元気ハツラツさを見ることができるなんて、うれしい限りです。2学期は“たくましい向陽”づくりです。

〈“自育力”の育成を目指して〉～「がんばれ！自分！」がポイント =その2=～

生徒がどのようにして『自育力』を身に付けるか。当然ながら、学校生活以外で身に付けることも多いと思いますが、今回は学校生活でいかに身に付けるかについて触れたいと思います。学校での主な活動場面に分けて考えます。

第1に、授業を中心とした「学習活動」の場面です。学年によるレベルの違いはあるものの、落ち着いて授業に取り組む、自分の考えを発表する、分かる喜びを味わう、クラスメイトと協力して授業を創る、提出物を出す、宿題をやる、定期考査前の自己学習に取り組むなどの習慣を身に付ける機会となります。中学生の本分ですね。

第2に、委員会・係活動や部活動、行事などの「特別活動等」の場面です。これも学年差があ



【社会を明るくする運動その1】
終了後のさわやかな表情が！！

りますが、委員会・係活動で自分の役割を果たす、部活動で技術を磨き、我慢強さや集中力を身に付ける、行事の取組で自主性を発揮し成就感を共有する、宿泊行事で自主性と集団力を身に付ける、10分間の朝読書に取り組むなどの習慣を身に付けることができます。

第3に、学校生活全般にかかわる「人とのかかわり等」の場面です。自分から声に出してあいさつする、お互いに助け合いをする、「いじめをしない・させない・許さない」を共有する、思いやりと感謝の気持ちをもつ、いじめ0%五ヶ条を実践する、ボランティア活動に参加するなどの習慣を身に付けることができます。

実は、冒頭の学校生活以外との関連も無視できないことはおわかりいただけると思います。例えば、“規則正しい生活習慣を身に付ける”や“自分から声に出してあいさつをする”、“毎日1時間家庭学習に取り組む”など、ご家庭との連携が欠かせません。ご理解とご協力を。

〈“いじめのない向陽中学校”をつくる その3〉

今回は生徒会作成の「いじめ0%五ヶ条」の取組について触れたいと思います。前号で第1回「学校生活アンケート」の結果をお知らせしましたが、このアンケートで生徒が「いじめ0%五ヶ条」のうち、この1学期間に実践できたことを書いていますので一部を紹介します。

□先生と会ったらあいさつをしたこと。ありがとうを言うことを心がけて言えた。(1年男子)

■友達の良い所をみかけたら、「すごいね」などとほめたこと。友達が悩んで困っていたりしたら、すぐに声をかけたこと。(1年女子)

◇いつもみんなに助けられているから、小さなことでもお返しをしている。助けられたときはお礼を言っている。(2年女子)

◆知らない人でもあいさつできるチャンスがあったら、積極的にあいさつをしている。(2年男子)

□給食の準備で箸やスプーンを置くとき、左利きの人には向きを変えて置くようにしている。(2年女子)

■部活では部員の技術が上達したらほめたり、また同学年の部員にほめられたりしている。(3年女子)

◇ありがとうやほめることは日々心がけている。運動会ではクラスが団結して助け合いながら活動できた。朝のあいさつなどは習慣化している。(3年女子)

◆友達や相手の気持ちを考えて行動するよう心がけることができた。(3年女子)

□下校するとき、みんなにあいさつをしている。あいさつ以外の行動は習慣化しているので継続する。(3年男子)

五ヶ条には、人と人がかかわる上で身に付けたい大切な内容が盛り込まれています。生徒の方がよく分かっていますね！



【社会を明るくする運動その2】
気持ちを込めてお願いしますと…



【社会を明るくする運動その3】
大きな声で呼びかけると…

「向陽中学校いじめ0%五ヶ条」
一、ありがとうを言おう！
二、助け合おう！
三、ほめよう、ほめられよう！
四、挨拶をしよう！
五、気遣いを大切にしよう！

◇ 「杉並区中学生海外留学（第4期）」の派遣生25名が決定 結団式行われる

杉並区次世代育成基金活用事業として実施される「中学生海外留学事業（第4期）」の選考が行われ、区内派遣生25名が決定しました。第4期は8月17日(水)に出発し、8月29日(月)に帰国予定です。派遣先はオーストラリア連邦ウィロビー市です。6月6日(月)に結団式が行われ、田中良区長から派遣生への激励のごあいさつがありました。

この「中学生海外留学（第4期）」に本校からは9名の応募がありました。みな海外留学に夢と希望を抱き、積極的に応募してくれました。9名全員と面接をしましたが、しっかりと自分の言葉で説明してくれました。区選考の結果、本校からは3年生の夏目弥耶さんが選ばれました。現在、事前学習に追われていますが、きっと素敵な留学体験ができることでしょう。なお、本校菅原幸弘教諭も第4期留学体験に生徒引率者として同行します。



結団式後、写真撮影の様子

◇ 「明るく楽しい1年生！！」 96名と面談 =6月7日~7月12日=

この1学期に1年生96名と「4人一組による面談」を行いました。ちなみに、2学期は3年生と、3学期は2年生と面談を予定しています。今回の面談のねらいは、私が一日も早く“1年生全員を覚えること”です。

自分以外の3人の“いいところ”や“頑張っていること”を言ってもらおうと、男子は圧倒的に“おもしろい”と“場を盛り上げてくれる”が多かったです。楽しい訳ですね。女子は“明るい”と“元気”が多く、“やさしい”が続きました。男女共通して“まじめ”を挙げる生徒が一定程度いました。この他には積極的に発言する、リーダーシップがある、部活動を頑張っているなどが挙がりました。

つぎに、この1学期の目標である「明るい向陽を創ろう！」を話題にしました。特に運動会で発揮した向陽中生の明るさは見事だった（1年生も）とほめました。そして、これから何ができますかと尋ねると、“大きな声であいさつをする”“友達に声をかける”“発言をする”など、自分でできることがたくさん返ってきました。頼もしいですね。また、面談前に3段階(◎○●)で自己評価してもらった『自育力を育てる習慣づくり14か条』について話しました。私が驚いたのは●(身に付いていない)が少ないことです。私の予想を覆すほど◎(身に付いている)が多かったです。また、生徒が意識して身に付くよう取り組んでいることも分かりました(○)。中学校生活3年間で確かな習慣づくりができるようにと話しました。

全体をとおして感じたこと、それは1年生の“明るさ”と“元気”です。どの生徒もしっかりと話し、しっかりと聞いてくれました。まだまだ幼さが残っていたり、落ち着きがなかったりする様子も見られたりしましたが、今後の成長に期待したいと思います。がんばれ！ 1年生！

◇ 「自分と向き合った5日間」を大切に！ 2年生職場体験 7/11(月)~7/15(金)

私の中学生時代は毎日が職場体験のようでした。家の手伝いをさせられたからです。私の時代の“職場体験”は、つまり“働き手”として、そして現在の職場体験は“キャリア教育”の一環としてという違いがあります。当時の手伝いが楽しく感じることもありましたが、イヤイヤやっ

ていたことの方が多かったなと懐かしく思い出されます。なぜ懐かしく思えるかという、「働くこと」がいつしか心の中に意義あることとして根付いていったからです。「働くこと」って大切なんだと。私は「働くこと」≡「人として生きること」と思っています。一昔前と現在とでは「働くこと」に対する意識も変わってきています。なぜ中学生が“5日間の職場体験学習”をしなければならないのか。早い時期からキャリア教育を行わなければならない実態があるからです。

さて、私が職場体験の事業所を訪ねると、決まって生徒が驚いたような表情を見せていました。“驚き半分、歓迎半分”といったところでしょうか。私が訪問した事業所では、2年生がみな“しっかりと一生懸命”な姿を見せてくれました。時より見せてくれる笑顔にほっとしました。2年生が取り組んだこの5日間、仕事を通して感じ取ったり、自分自身を見つめ直す機会となったりと、それぞれに貴重な体験ができたと思います。やはり、「自分と向き合う」ことが自分を変えるスタートになりますね。



炎天下のはりきりボーイズ



幼児の反応を見ながら読み聞かせ



気をつけながら、おやつ準備

◇ 「高三・永福・向陽小中一貫教育」～5/2 第1回 向陽にて 7/15 第2回 高三にて～

高三・永福・向陽の取組は学習指導にかかわる連携に重点を置き、教員相互の関わりを深めていくことがねらいです。3校の先生方相互の“オープンな気持ちで！柔軟な考えで！助け合いを！”というスローガンの下、今年度の「高三・永福・向陽小中一貫教育（連携・交流）」を推進していきたいと思えます。なお、7月30日（土）開催の「すぎなみ小・中学生未来サミット」の取組につきましては、7月発行の「向陽中学校区小中一貫だより」第14号をお読みください。



左：「理科部会」 中：「体育・保健体育部会」 右「図画工作・美術・技

☆☆☆「地域での会合・保護者会・そして第1学期」への御礼 ☆☆☆

私自身が心を入れかえてスタートした二年目の向陽中の第1学期もあとわずかとなりました。この間、向陽中生の“明るく元気な姿”に励まされ、保護者の皆様方の“ご理解とご支援、そして温かさ”に助けられ、そして向陽中に関わっていただいている地域の皆様方の“温かさ”に支えていただきましたことに深く感謝申し上げます。今後も「向陽中学校の生徒を見てください！」を合言葉に“人間賛歌”を呼びかけていきたいと思えます。この第1学期を無事に終えることができましたことに対し、改めて地域並びに保護者の皆様方に感謝申し上げます。ありがとうございました。